

由布市湯布院地域複合施設建設工事設計業務委託
参加表明書等作成要領

1. 参加表明書等作成上の留意事項

参加者は「由布市湯布院地域複合施設建設工事設計業務委託公募型プロポーザル募集要領」に定める諸条件に同意した上で、プロポーザルへの参加を表明することができる。参加表明書等の提出要領については次のとおりとする。

2. 提出図書一覧

提出図書	様式	提出部数
参加表明書	様式 1-1	提出者名有：6部 (A) 提出者名無：2部 (B) 提出者名無：8部 (C)
由布市暴力団排除条例に基づく誓約書	様式 1-2	1部
技術職員・資格一覧 業務担当者一覧	様式 2-1 様式 2-2	各 6部ずつ (A) 各 2部ずつ (B)
各技術者の業務実績等	様式 3 から様式 7	各 6部ずつ (A) 各 2部ずつ (B)
協力事務所の名称等	様式 8	6部 (A) 2部 (B)
提案趣旨書	様式 9	6部 (A) 2部 (B) 8部 (C)
質問票	様式 14	必要に応じて

※作成の際には、様式の欄外等に記載されている事項に注意し、必要に応じ指示する資料を添付すること。

※様式 1-2 は綴じずに提出すること。それ以外は、A4 サイズ縦向き長辺左 2 箇所留めとし、様式 9 に関しては A3 サイズのため、A4 サイズになるよう片袖折にして綴じ込んで提出すること。

※ (A)・(B) の書類に関しては、様式 1-1 を表紙に様式 2 から 9 までを順に、(C) の書類に関しては、様式 1-1 を表紙に様式 9 のみを綴じること。

3. 業務実施上の条件

- (1) 主たる業務（建築意匠業務）を再委託しないこと。
- (2) 管理技術者は、一級建築士であること。
- (3) 管理技術者及び担当主任技術者（意匠）は、提出者の組織に所属していること。
- (4) 管理技術者及び記載を求める各担当主任技術者は、それぞれ 1 名であること。
- (5) 管理技術者が記載を求める他の分担業務分野の担当主任技術者を兼任していないこと。
また、担当主任技術者（意匠）が、記載を求める他の分担業務分野の担当主任技術者を兼任していないこと。
- (6) 管理技術者及び記載を求める各担当主任技術者は、平成 20 年 4 月以降に同種または類似業務に携わった実績があること。
- (7) 業務の一部を再委託する場合には、再委託先の協力事務所が由布市の建築設計業等競争入札参加資格者である場合、指名停止を受けている期間中でないこと。

※「管理技術者」とは、契約の履行に関し設計業務の技術上の管理及び統括等を行う者で、請負者が定めた者をいう。

※「担当主任技術者」とは、管理技術者の下で意匠、構造、積算、電気設備機械設備等の業務ごとに、その業務に関する技術者の統括を行う者、または、その業務を行う者で請負者が定めた者をいう。ただし、業務に関する打ち合わせ等に常時実際に出席する者とする。

4. 各様式の記載内容等

- (1) 様式 1-1：参加表明書
 - (A) に使用する 6 部のみ、枠内に提出者等について記載・押印すること。
- (2) 様式 1-2:由布市暴力団排除条例に基づく誓約書
内容を確認の上、確認時の日付その他必要事項を記入し、押印すること。
- (3) 様式 2-1：技術職員・資格一覧
担当する技術職員の人数等を記入すること。(B) に使用する 2 部には事務所名・担当者氏名等を記載しないこと。
- (4) 様式 2-2：業務担当者一覧
業務担当者の氏名、フリガナ、所属事務所を記載すること。(B) に使用する 2 部には所属事務所名を記載しないこと。
- (5) 様式 3-1～様式 7：管理技術者および各担当主任技術者の業務実績等
 - ① 所属・役職の欄には会社名は記載しないこと。

- ② 記載する資格数は 3 つ以内とし、一級建築士と同等以上の資格を優先的に記載すること。
- ③ 記載する業務実績の件数は、5 件以内とすること。
- ④ 同種・類似業務の実績の記載に当たっては、同種業務実績を優先するものとする（当該実績の契約書の写しを添付すること）。
- ⑤ 受注形態、種別については、該当するものに○をつけるものとし、共同企業体の場合は、（ ）内に他の構成員を記載すること。また、協力の場合は、（ ）内に元請事務所名を記載すること。
- ⑥ 立場の欄には、管理技術者もしくは担当主任技術者と記載すること。
- ⑦ 手持ち業務の状況欄には、参加表明書提出日現在の手持ち設計業務（契約予定のものも含む）について記載すること。ただし、工事監理業務や平成 30 年 7 月末までに完了予定の業務は除くこと。3 件以上手持ち設計業務がある場合は、延床面積の大きい施設を優先的に記載すること。
- ⑧ 受賞歴は、個人に対する受賞および受賞した作品に担当技術者以上の立場で参加しているものを記載すること。記載する件数は 5 件以内とし、同種業務、類似業務、その他の業務の順位で記載すること。
- ⑨ 受賞歴として認められる例…国、国の設置する特別の機関、地方公共団体（都道府県）、日本学術会議協力学術研究団体、公益法人（特例社団法人を含む）の主催する賞のうち、建築および附属設備に関する賞を評価の対象とし、その他の賞に関しては、選定委員会の判断とする。

(6) 様式 7：協力事務所の名称等

業務の一部を再委託する場合には、協力事務所の名称、再委託する理由及び内容等を様式 7 に従い記載すること（担当技術者の記載を求めない分野を再委託する場合においても記載すること。）。

(7) 様式 9：提案趣旨書

「由布市湯布院地域複合施設建設における基本構想」を基に本設計業務を進めるにあたり、何を重要なこととして取り組みたいと考えるか、また、その実現にあたってどのような設計の進め方を考えているのかについて記述すること。

記述の内容・表現方法は自由とするが、文字の大きさは 11.0pt とし、提出者（協力事務所を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な社名、自社の作品の写真・図面・パース・模型写真等）を記載してはならない。

5. 書類作成の注意事項

- (1) 参加表明書及び関連資料は、別添の様式に基づき作成する。

- (2) 用紙の大きさは A4 判タテ（片面印刷）とする（但し、様式 9 は A3 ヨコとする）。
- (3) 各様式に記載する業務実績等は、以下のとおりとする。
- ① 同種業務とは「国または地方公共団体が発注した延床面積 2,000 m²以上の建築物で、延床面積の 1/3 を超える面積を庁舎（窓口を有する執務室）の用途としているもの」の設計業務とする。
 - ② 類似業務とは「国または地方公共団体が発注した平成二十一年度国土交通省告示第十五号別添二における類型十二に該当する延床面積 2,000 m²以上の建築物で、延床面積の 1/2 を超える面積を上記類型の用途としているもの」の設計業務とする。
- (4) 各様式に記載する業務実績・受賞歴等は以下のものとする。
平成 20 年 4 月以降に設計が完了し、工事に着手した施設の設計に関するもの。

6. 参加表明書等の提出

- (1) 参加表明書等の提出は以下による。
- ① 提出様式及び部数は 2. の表による。
 - ② 提出場所
〒879-5192 大分県由布市湯布院町川上 3738 番地 1
由布市湯布院振興局地域振興課 複合施設建設準備室
TEL : 0977-84-3111 FAX : 0977-85-3104
 - ③ 提出期限 平成 30 年 6 月 29 日（金） 正午まで
 - ④ 提出方法
事務局へ持参又は郵送（受付期間内に事務局必着とし、配達完了が確認できる書留郵便又は宅配業者等による信書便に限る。）により提出すること。
持参の場合は事前に事務局へ連絡し、午前 9 時から午後 17 時までの間で受付可能とする。また、提出書類の受領確認ができるよう、受付番号を付した参加表明書等受領書を受付後に交付するため、郵送により提出した場合は、参加表明書等受領書返信用封筒（長形 3 号サイズで 82 円切手を貼り、返信先宛名を記載しているもの 1 通）を同封すること。

7. その他

- (1) 要求された内容以外の書類、図面等については受理しないものとする。
- (2) 提出図書は返却しないものとする。
- (3) 本手続において使用する言語は日本語とする。